

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年4月1日(2021.4.1)

【公表番号】特表2021-505691(P2021-505691A)

【公表日】令和3年2月18日(2021.2.18)

【年通号数】公開・登録公報2021-008

【出願番号】特願2020-552072(P2020-552072)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/122	(2006.01)
A 6 1 K	38/21	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	9/12	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	21/02	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/04	(2006.01)
A 6 1 P	21/04	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	15/02	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	7/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/06	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	3/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/08	(2006.01)
A 6 1 P	19/10	(2006.01)
A 6 1 P	31/22	(2006.01)
A 6 1 P	27/04	(2006.01)
A 6 1 P	5/14	(2006.01)
A 6 1 P	17/14	(2006.01)
A 6 1 P	15/08	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K	31/122	
A 6 1 K	38/21	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	19/00	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	9/12	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	21/02	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	11/04	
A 6 1 P	21/04	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	15/02	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	7/00	
A 6 1 P	7/06	
A 6 1 P	7/04	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	3/00	
A 6 1 P	19/08	
A 6 1 P	19/10	
A 6 1 P	31/22	
A 6 1 P	27/04	
A 6 1 P	5/14	
A 6 1 P	17/14	
A 6 1 P	15/08	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 P	43/00	1 2 1

【手続補正書】

【提出日】 令和2年6月17日 (2020.6.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

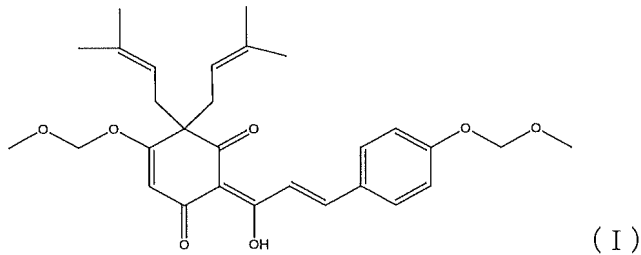
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記式 I :

【化 1】



で表される構造を含むキノカルコン化合物又はその塩を含む組成物。

【請求項 2】

インターフェロン又はそのバリエーションをさらに含み、前記インターフェロンは I F N - β 又は I F N - γ である請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記インターフェロンはヒトインターフェロンである請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記インターフェロンのバリエーションは、生理活性を有するバリエーションである請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 5】

薬学的に許容される 1 種以上の添加剤又は賦形剤を含む医薬組成物である請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の組成物の、医薬品の製造における使用。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の組成物の、がん、炎症または炎症性疾患のための治療用医薬品の製造における使用。

【請求項 8】

前記がんは、リンパ腫、白血病、造血組織腫瘍、骨髄腫、黒色腫、固形腫瘍から選択され、

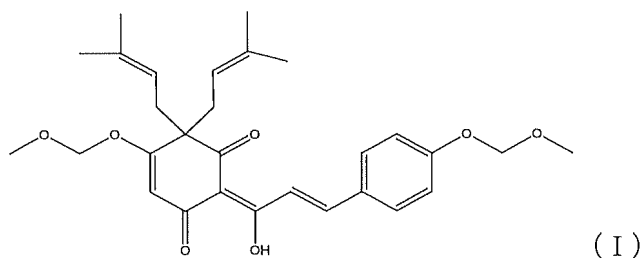
前記炎症または炎症性疾患は、多発性筋炎、血管炎症候群、巨細胞動脈炎、高安動脈炎、再発性多発性軟骨炎、後天性血友病 A、スチール病、成人スチール病、アミロイド A 蛋白アミロイドーシス、リウマチ性多発筋痛、脊柱関節症、肺動脈高圧、移植片対宿主病、自己免疫性心筋炎、接触性アレルギー（接触皮膚炎）、胃食道逆流症、紅皮症、ベーチェット病、筋萎縮性側索硬化症、移植、視神経脊髄炎、関節リウマチ、若年性関節リウマチ、悪性関節リウマチ、薬剤耐性型関節リウマチ、視神経脊髄炎、川崎病、多関節若年性特発性関節炎もしくは全身性若年性特発性関節炎、乾癬、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、キャッスルマン病（Castleman 病）、喘息、アレルギー性喘息、アレルギー性脳脊髄炎、関節炎、慢性進行性関節炎、反応性関節炎、乾癬性関節炎、腸炎性関節炎、変形性関節症、リウマチ性疾患、脊柱関節症、強直性脊椎炎、レット症候群、過敏性反応（気道過敏性反応、皮膚過敏性反応を含む）、アレルギー、全身性エリテマトーデス、皮膚限局型エリテマトーデス、らい性結節性紅斑、シェーグレン症候群、炎症性筋疾患、多発軟骨炎、ウェゲナー肉芽腫、皮膚筋炎、スティーヴンス・ジョンソン症候群、慢性活動性肝炎、重症筋無力症、熱帯性スプルー、自己免疫性炎症性腸疾患、潰瘍性大腸炎、クローン病、過敏性腸症候群、内分泌性眼症、強皮症、グレーブス病、サルコイドーシス、多発性硬化症、原発性胆汁性肝硬変、膣炎、直腸炎、インスリン依存性糖尿病、インスリン抵抗性糖尿病、若年性糖尿病（1 型糖尿病）、自己免疫性血液疾患、溶血性貧血、再生不良性

貧血、赤芽球癆性貧血、特発性血小板減少症（ITP）、自己免疫性ぶどう膜炎、前部ぶどう膜炎と後部ぶどう膜炎、乾性角結膜炎、春季角結膜炎、間質性肺線維症、糸球体腎炎（ネフローゼ症候群あり又はなし）、特発性ネフローゼ症候群もしくは微小変化型ネフローゼ症候群、炎症性皮膚疾患、角膜炎、筋炎、骨に埋め込まれたインプラントの弛緩、代謝異常、アテローム性動脈硬化、脂質異常症、骨量減少、変形性関節症、骨粗鬆症、閉塞性呼吸器疾患もしくは炎症性呼吸器疾患による歯周病、気管支炎、塵肺症、肺気腫、急性・超急性炎症反応、急性感染、敗血症性ショック、エンドトキシンショック、成人呼吸窮迫症候群、脳脊髄膜炎、肺炎、悪性疾患による消耗症候群、脳卒中、単純ヘルペス性角膜実質炎、ドライアイ、虹彩炎、結膜炎、角結膜炎、ギラン・バレー症候群、スティッフパーソン症候群、橋本甲状腺炎、自己免疫性甲状腺炎、脳脊髄炎、急性リウマチ熱、交感性眼炎、グッドパスチャー症候群（Goodpasture's syndrome）、全身性壊死性血管炎、抗リン脂質抗体症候群、アジソン病、尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、疱疹状皮膚炎、アトピー性皮膚炎、湿疹性皮膚炎、鵝口瘡性潰瘍、扁平苔癬、自己免疫性脱毛症、白斑症、自己免疫性溶血性貧血、自己免疫性血小板減少性紫斑病、悪性貧血、感音難聴、特発性両側性進行性感音難聴、多腺性自己免疫症候群1型もしくは2型、免疫性不妊症、免疫介在性不妊症、頭痛、片頭痛、疼痛、腫脹から選択される、自己免疫疾患又は炎症誘発性疾患を含む、請求項7に記載の使用。

【請求項9】

下記式I：

【化2】

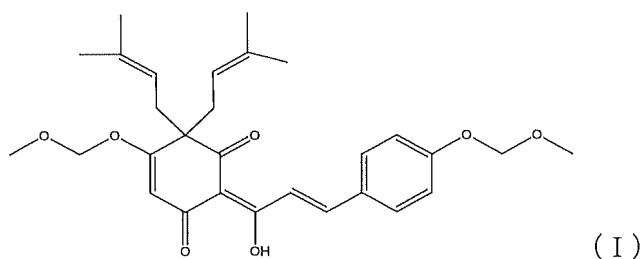


で表される構造を含むキノカルコン化合物又はその塩の、医薬品の製造における活性医薬成分としての使用。

【請求項10】

下記式I：

【化3】



で表される構造を含むキノカルコン化合物又はその塩の、がん、炎症または炎症性疾患のための治療用医薬品の製造における、活性医薬成分としての使用。

【請求項11】

前記医薬品の対象はヒトである、請求項10に記載の使用。

【請求項12】

前記がんは、リンパ腫、白血病、造血組織腫瘍、骨髄腫、黒色腫、固形腫瘍から選択され、

前記炎症または炎症性疾患は、多発性筋炎、血管炎症候群、巨細胞動脈炎、高安動脈炎、再発性多発性軟骨炎、後天性血友病A、スティル病、成人スティル病、アミロイドA蛋白アミロイドーシス、リウマチ性多発筋痛、脊柱関節症、肺動脈高圧、移植片対宿主病、自己免疫性心筋炎、接触性アレルギー（接触皮膚炎）、胃食道逆流症、紅皮症、ベーチェット病、筋萎縮性側索硬化症、移植、視神経脊髄炎、関節リウマチ、若年性関節リウマチ、悪性関節リウマチ、薬剤耐性型関節リウマチ、視神経脊髄炎、川崎病、多関節若年性特発性関節炎もしくは全身性若年性特発性関節炎、乾癬、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、キャッスルマン病（Castleman病）、喘息、アレルギー性喘息、アレルギー性脳脊髄炎、関節炎、慢性進行性関節炎、反応性関節炎、乾癬性関節炎、腸炎性関節炎、変形性関節症、リウマチ性疾患、脊柱関節症、強直性脊椎炎、レット症候群、過敏性反応（気道過敏性反応、皮膚過敏性反応を含む）、アレルギー、全身性エリテマトーデス、皮膚限局型エリテマトーデス、らい性結節性紅斑、シェーグレン症候群、炎症性筋疾患、多発軟骨炎、ウェゲナー肉芽腫、皮膚筋炎、スティューヴンス・ジョンソン症候群、慢性活動性肝炎、重症筋無力症、熱帯性スプルー、自己免疫性炎症性腸疾患、潰瘍性大腸炎、クローン病、過敏性腸症候群、内分泌性眼症、強皮症、グレーブス病、サルコイドーシス、多発性硬化症、原発性胆汁性肝硬変、膣炎、直腸炎、インスリン依存性糖尿病、インスリン抵抗性糖尿病、若年性糖尿病（1型糖尿病）、自己免疫性血液疾患、溶血性貧血、再生不良性貧血、赤芽球癆性貧血、特発性血小板減少症（ITP）、自己免疫性ぶどう膜炎、前部ぶどう膜炎と後部ぶどう膜炎、乾性角結膜炎、春季角結膜炎、間質性肺線維症、糸球体腎炎（ネフローゼ症候群あり又はなし）、特発性ネフローゼ症候群もしくは微小変化型ネフローゼ症候群、炎症性皮膚疾患、角膜炎、筋炎、骨に埋め込まれたインプラントの弛緩、代謝異常、アテローム性動脈硬化、脂質異常症、骨量減少、変形性関節症、骨粗鬆症、閉塞性呼吸器疾患もしくは炎症性呼吸器疾患による歯周病、気管支炎、塵肺症、肺気腫、急性・超急性炎症反応、急性感染、敗血症性ショック、エンドトキシンショック、成人呼吸窮迫症候群、脳脊髄膜炎、肺炎、悪性疾患による消耗症候群、脳卒中、単純ヘルペス性角膜実質炎、ドライアイ、虹彩炎、結膜炎、角結膜炎、ギラン・バレー症候群、スティッフパーソン症候群、橋本甲状腺炎、自己免疫性甲状腺炎、脳脊髄炎、急性リウマチ熱、交感性眼炎、グッドパスチャー症候群（Goodpasture's syndrome）、全身性壊死性血管炎、抗リン脂質抗体症候群、アジソン病、尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、疱疹状皮膚炎、アトピー性皮膚炎、湿疹性皮膚炎、鵝口瘡性潰瘍、扁平苔癬、自己免疫性脱毛症、白斑症、自己免疫性溶血性貧血、自己免疫性血小板減少性紫斑病、悪性貧血、感音難聴、特発性両側性進行性感音難聴、多腺性自己免疫症候群1型もしくは2型、免疫性不妊症、免疫介在性不妊症、頭痛、片頭痛、疼痛、腫脹から選択される自己免疫疾患又は炎症誘発性疾患を含む、請求項10または11に記載の使用。

【請求項13】

がん、炎症または炎症性疾患の治療を必要とするヒト以外の対象に適用するためのがん、炎症または炎症性疾患の治療方法であって、

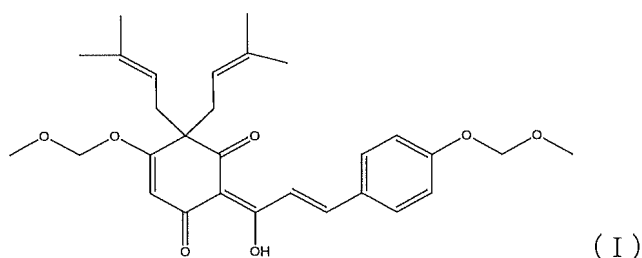
前記対象に、治療有効量の請求項1～5のいずれか1項に記載の組成物を投与することを含む、がん、炎症または炎症性疾患の治療方法。

【請求項14】

がん、炎症または炎症性疾患の治療を必要とするヒト以外の対象に適用するためのがん、炎症または炎症性疾患の治療方法であって、

下記式I：

【化 4】



で表される構造を含む治療有効量のキノカルコン化合物又はその塩を、前記対象に投与することを含む、がん、炎症または炎症性疾患の治療方法。

【請求項 15】

前記対象に治療有効量の I F N - β 又は I F N - γ を投与することをさらに含む、請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】

前記 I F N - β 又は I F N - γ は、ヒトインターフェロン又は生理活性を有するそのバリエーションである、請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】

前記がんは、リンパ腫、白血病、造血組織腫瘍、骨髄腫、黒色腫、固形腫瘍から選択され、

前記炎症または炎症性疾患は、多発性筋炎、血管炎症候群、巨細胞動脈炎、高安動脈炎、再発性多発性軟骨炎、後天性血友病 A、ステイル病、成人ステイル病、アミロイド A 蛋白アミロイドーシス、リウマチ性多発筋痛、脊柱関節症、肺動脈高圧、移植片対宿主病、自己免疫性心筋炎、接触性アレルギー（接触皮膚炎）、胃食道逆流症、紅皮症、ベーチェット病、筋萎縮性側索硬化症、移植、視神経脊髄炎、関節リウマチ、若年性関節リウマチ、悪性関節リウマチ、薬剤耐性型関節リウマチ、視神経脊髄炎、川崎病、多関節若年性特発性関節炎もしくは全身性若年性特発性関節炎、乾癬、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、キャッスルマン病（Castleman 病）、喘息、アレルギー性喘息、アレルギー性脳脊髄炎、関節炎、慢性進行性関節炎、反応性関節炎、乾癬性関節炎、腸炎性関節炎、変形性関節症、リウマチ性疾患、脊柱関節症、強直性脊椎炎、レット症候群、過敏性反応（気道過敏性反応、皮膚過敏性反応を含む）、アレルギー、全身性エリテマトーデス、皮膚限局型エリテマトーデス、らい性結節性紅斑、シェーグレン症候群、炎症性筋疾患、多発軟骨炎、ウェゲナー肉芽腫、皮膚筋炎、スティーヴンス・ジョンソン症候群、慢性活動性肝炎、重症筋無力症、熱帯性スプルー、自己免疫性炎症性腸疾患、潰瘍性大腸炎、クローン病、過敏性腸症候群、内分泌性眼症、強皮症、グレーブス病、サルコイドーシス、多発性硬化症、原発性胆汁性肝硬変、膣炎、直腸炎、インスリン依存性糖尿病、インスリン抵抗性糖尿病、若年性糖尿病（1 型糖尿病）、自己免疫性血液疾患、溶血性貧血、再生不良性貧血、赤芽球癆性貧血、特発性血小板減少症（ITP）、自己免疫性ぶどう膜炎、前部ぶどう膜炎と後部ぶどう膜炎、乾性角結膜炎、春季角結膜炎、間質性肺線維症、糸球体腎炎（ネフローゼ症候群あり又はなし）、特発性ネフローゼ症候群もしくは微小変化型ネフローゼ症候群、炎症性皮膚疾患、角膜炎、筋炎、骨に埋め込まれたインプラントの弛緩、代謝異常、アテローム性動脈硬化、脂質異常症、骨量減少、変形性関節症、骨粗鬆症、閉塞性呼吸器疾患もしくは炎症性呼吸器疾患による歯周病、気管支炎、塵肺症、肺気腫、急性・超急性炎症反応、急性感染、敗血症性ショック、エンドトキシンショック、成人呼吸窮迫症候群、脳脊髄膜炎、肺炎、悪性疾患による消耗症候群、脳卒中、単純ヘルペス性角膜実質炎、ドライアイ、虹彩炎、結膜炎、角結膜炎、ギラン・バレー症候群、スティッフパーソン症候群、橋本甲状腺炎、自己免疫性甲状腺炎、脳脊髄炎、急性リウマチ熱、交感性眼炎、グッドパスチャー症候群（Goodpasture's syndrome）、全

身性壊死性血管炎、抗リン脂質抗体症候群、アジソン病、尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、
疱疹状皮膚炎、アトピー性皮膚炎、湿疹性皮膚炎、鵝口瘡性潰瘍、扁平苔癬、自己免疫性
脱毛症、白斑症、自己免疫性溶血性貧血、自己免疫性血小板減少性紫斑病、悪性貧血、感
音難聴、特発性両側性進行性感音難聴、多腺性自己免疫症候群 1 型もしくは 2 型、免疫性
不妊症、免疫介在性不妊症、頭痛、片頭痛、疼痛、腫脹から選択される自己免疫疾患又は
炎症誘発性疾患を含む、請求項 1 4 ～ 1 6 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 1 8】

前記キノカルコン化合物又はその塩と、前記 I F N - β 又は I F N - γ とを同時に又は
個別に、前記対象に投与する、請求項 1 4 ～ 1 6 のいずれか 1 項に記載の方法。